



# Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリーテーマ

2022-23年度 第2650地区スローガン



「感動、感激、そして感謝」



鯖江ロータリークラブ会長方針  
『わくわくと感動と  
思いやりの心で  
奉仕しよう』  
会長 大橋 良史

第3027回  
9/30(金)

9月第4例会

点鐘:12:35

テーマ「地方の課題、乗り越えるために!」  
永平寺町長  
卓話 **河合 永充 様**

第3028回  
10/7(金)

10月第1例会

点鐘:12:35

テーマ「インテリアからの発信」  
らいふでさいん室・秀 代表  
卓話 **浅野 秀代 会員**

第3029回  
10/14(金)

10月第2例会

点鐘:12:35

テーマ「マレーシアについて」  
米山奨学生  
卓話 **チ ケンフォン 君**

9/30(金)

第3027回

4つのテスト

出席率 83.8%

鯖江商工会議所 4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘  
四 つ の テ ス ト  
ロ ー タ リ ー ソ ン グ  
会 長 の 時 間  
幹 事 報 告 等  
プ ロ グ ラ ム  
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



私たちの生業  
桑原 重之  
ソング副委員長

会長の時間



大橋 良史 会長  
本日の卓話は、  
永平寺町長 河合永  
充(ひさみつ)様です。  
「地方の課題、乗り  
越えるために」というテーマでの卓話楽しみ  
にしております。

さて、9月は家庭会合の月で21日の第1班  
から始まり、28日・29日・そして本日開催さ  
れます。様々なお意見をお聞きすることが出  
来、とても有意義でありました。  
先日NPOの会議に参加して改めてベル  
マークのことに関心を持ちましたので少しお  
話したいと思います。

ベルマークは皆さんご存じですが、私も小学生のこ  
と集めていた記憶があります。このベルマーク運動は  
ベルマーク教育助成財団という組織が「すべての子ど  
もに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」  
そんな願いをこめて1960年(62年前)に始まりました。

P T Aなどのボランティアで生み出された資金(ベル  
マーク預金)で学校の設備や教材をそろえ、さらに国  
の内外でハンディを背負いながら学んでいる子ども  
たちに援助の手を差し伸べます。マーク集めから始まる  
だけでも気軽に参加できるボランティアであり、約851  
万世帯のP T Aと、共鳴する企業や地域の人たちに支  
えられて助け合いの輪は大きく広がっています。

ベルマーク運動に参加できるのは保育園・幼稚園・  
小学校・中学校・高校などの「学校」単位です。昨年1  
番多く集めた学校は東京の小平第十五小学校で  
1,157,913点を集められたようです。福井県で1番の学  
校は武生南小学校で295,549点でした。

私が先日の会議で初めて聞いて驚いたのは、ウェブ  
ベルマークというのがあるそうです。私は頻りにネット  
ショッピングやウェブで旅行やゴルフなどを予約したり  
していますが、ウェブベルマークとは、ネットショッピ  
ングの広告費を利用するシステムで、新しいベルマーク  
運動の形です。ウェブベルマークサイトを經由してから  
各ショップの商品やサービスを利用するだけで、自己  
負担なく支援金を生み出すことができます。支援金は、  
ウェブベルマーク協会からベルマーク教育助成財団を  
通じて、被災校をはじめ、全国の学校支援に活用され  
ます。

ヤフーショッピングや楽天市場、じゃらん、アスクル  
などのサイトで買い物をするだけで、寄付が出来るの  
です。また、ベルマークを寄贈する学校も選択できま  
す。ネットでショッピングなどされる方は是非ともご利用い

ただき、母校の小中学校や、遠方でも例えば被災地の  
学校、お孫さんの通う学校などいつでも選択を変える  
こともできます。また財団に寄付した場合は、へき地や  
被災地の学校へ寄付されるそうです。また、その際にロ  
ーターカードでお支払いをしていただければ、0.3%  
がポリオ撲滅などの社会貢献にもなりますので、お勧  
めいたします。

## 幹事報告



野呂 和夫 幹事

①交通安全啓発運動

9月27日(火)夕方5:45か  
ら30分程、鯖江市からの依頼  
で秋の交通安全啓発活動に

参加しています。

大橋会長、野中社会奉仕委  
員長、岡本広報委員長が、ハ  
ーツさばえ(小黒町)の駐車場  
にて、交通安全に関するチラ  
シの配布などを行いました。ご苦勞様でした。

②家庭会合について。

先週21日(水)に第1班、今週28日水曜に第3班、  
昨日は第4班が終了し、本日は第2班が予定してい  
ます。終了している班は、後ほど報告をお願いします。

③例会時のロータリー旗について。

洗濯をしたら色落ちし、全体的に変色してしま  
いました。新調しますが、会長幹事にらせてください。  
お願いします。

※マイク・マスクについて。消毒について。

コロナも少しずつ落ち着いてきましたので、合わせ  
て少しずつ以前の状態へ戻していきます。まずは、マイ  
クで発言時はマスクを外してください。それでも、対策  
として都度マイクの消毒はします。



卓話 永平寺町長 河合 永充 様 テーマ「地方の課題、乗り切る為に！」



卓話者紹介 田村康夫 プログラム委員長

今日は、大変お忙しい中、私の大好きな河合町長にお越しいただきました。永久の永に充実の充と書いて「ながみつさん」と読み間違える方がおられますが、「ひさみつさん」と読みます。16年前に永平寺町議に

出られ、2期務められ、40歳か41歳の時に町長選に出られ、今3期目に突入されています。永平寺町は、松岡町・永平寺町・上志比村が合併した町です。曹洞宗大本山永平寺を抱えておりまして、『禅の町』として有名であります。49歳であります。話を聞いていただければお人柄がよくわかります。優しい人柄でありながら、強い信念をお持ちで、沢山の人が付いてこられます。いろんな出会いも持っておられて、凄いなあと尊敬する政治家です。今日はよろしくお願いたします。



卓話者:永平寺町長 河合永充 様  
テーマ:「地方の課題、乗り越える為に！」

人生100年時代が当たり前の世の中になり、1970年代の現役世代8.5人で高齢者1人を支える社会から、2050年には現役世代1.2人で高齢者1人を支える社会を迎えます。

少子高齢化が進展し人口が減少していく状況でも、みんなに活躍の場があり、みんなで支えあい、みんなが生き生きと暮らしていくことができる持続可能な社会を創っていくことが、「地方創生」だと考えています。

今日は、永平寺町での地方創生の取組みをいくつか紹介させていただきます。

永平寺町で実施されている特徴的な事業のひとつに「自動運転」の実証事業があります。平成29年に、国が自動運転の「実証評価地域」として永平寺町を選定し、自動運転の取組みが始まりました。現在では、「1人の遠隔監視・操作者が3台の自動走行車両を運用」する世界レベルの実証を行っています。

自動運転実証事業がきっかけとなり、「永平寺町MaaS会議」が設立され、その会議で検討した事業のひとつに、「近助タクシー」事業があります。「近助タクシー」とは、地域の高齢者を自宅から目的地までをドアツードアで結ぶデマンドタクシーで、地域住民によるドライバー制度も地域コミュニティの拡大に役立っています。

次に、永平寺町立在宅訪問診療所の設立についてお話させていただきます。

高齢化による医療サービスの需要は今後さらに増加すると見込まれ、在宅医療体制の整備が緊急の課題でした。

かかりつけ医・在宅医療機能を確保し、「在宅診療の拠点として医療、介護を受けられる体制」を整えるため、「永平寺町立在宅訪問診療所」を設立しました。利用者数も2年間で3.6倍に伸びています。

災害に強いまちづくりについても万全を期しています。町内自治会の防災講座に直接出向いて、防災対策の重要性を、自助・共助・公助の観点からお話しています。地域が主体となった自主防災組織の活動も活発で、防災士の資格取得者の人口割合も全国トップクラスです。

このような施策を、給食費無償化などの子育てしやすい環境づくり施策と組み合わせ、丁寧に広報活動を実施し理解をいただけてまいりました。

まちづくり・地方創生における行政の役割は、人と人をつなげる、地域資源とつなげる、事業をつなげる、さまざまな「縁」をつなげていくことだと考え、実践しています。さまざまな分野の皆さんが集い、持続的に笑顔で活躍できる場づくりが、開かれた地域づくり、地方創生につながっていくのではないのでしょうか。

- MaaS / 平成29年～ 自動走行の取組
  - ・自動走行車両10台を投入し、自動走行1ヶ月間実証実験
  - 地域住民396名 観光客2061名=2457名が利用!
- MaaS会議の取組み
  - ・交通、物流、郵便、福祉:業種を超えて未来の交通を探る
  - ・近助タクシー=地域が求める公共交通の確立
- 地域の医療・介護を支える取組
  - ・在宅医療充実へ新拠点=地域包括ケアシステム(福井大病院と連携)在宅訪問診療所=AMは診療所PMは在宅訪問
- 働く世代・子育てを支える取組
  - ・隣市町に比べ低額な保育料
  - ・学校給食の無償化
- 災害に強いまちづくりへの取組
  - ・町民の50人に1人が防災士
- 施策をつなげ「正の螺旋構造」を目指す
  - ・「安心と笑顔の約束」を実現するため



委員会報告

2021-22年度 決算報告

婦山 明朗 前会長・佐野 直美 前幹事

『鯖江ロータリークラブ 収支報告書(令和3年7月～令和4年6月)』に基づき、会計報告がありました。

監査 窪田 健一 会員により「令和4年9月15日、普通預金通帳・金銭出納帳並びに元帳・請求書・領収証により監査の結果、正確且つ妥当であることを認めました。」との監査報告がなされました。

婦山 前会長が会員に諮ったところ、全会一致にて2021-22年度 決算報告書が承認されました。



ここにBOX報告

- 大橋 良史 会員 河合様をお迎えして 感謝感謝です
- 野呂 和夫 会員 河合さまの卓話を楽しみに
- 田村 康夫 会員 大好きな河合町長をお迎えして
- 梅田 吉臣 会員 永平寺町長河合さまの卓話を楽しみに 前年度決算理事会ありがとうございました
- 婦山 明朗 会員 河合さまの卓話を楽しみに
- 窪田 健一 会員 家庭会合適度な適度なお酒で済みました
- 齋藤 多久馬 会員 河合さまの卓話を楽しみに

- 黒田 敏夫 会員 家庭会合に参加して
- 佐野 直美 会員 河合町長をお迎えして 今夜は第二班の家庭会合です。圭子さんお世話になります
- 幸道 森市 会員 浅野会員慣れない出席確認ご苦労様でした 毎週お願いたします
- 大島 恒彦 会員 誕生日をいただいてありがとうございます
- 岩尾 顕治 会員 来週米山奨学生子君を連れて大野RCを訪問します
- 増永 英彦 会員 早退させていただきます

ニコニコ箱発表  
幸道 森市  
ニコニコ委員長

